

## アンケート③（大学・短大・専門学校）の結果と分析

### I 結果の要約

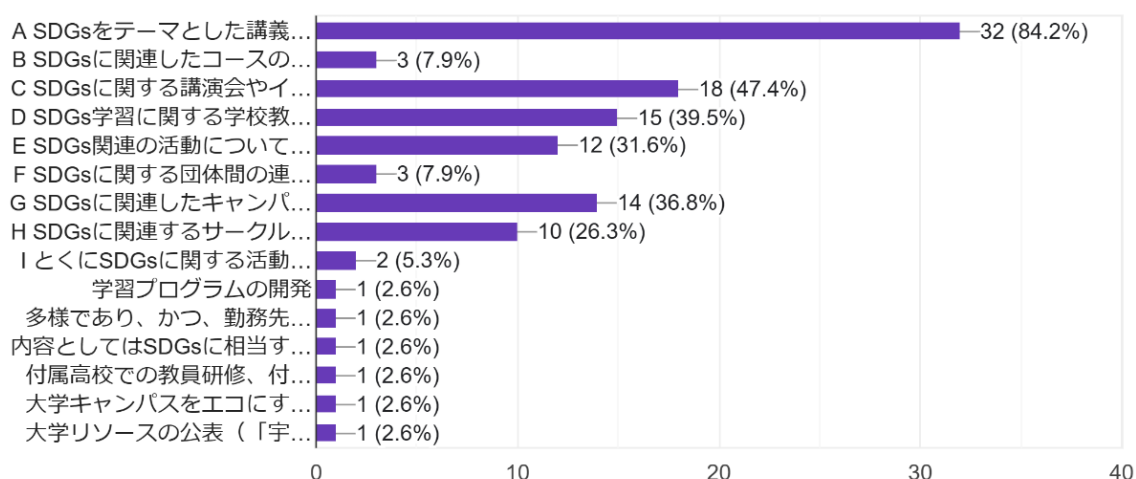
- ・ 回答者が所属する大学等では、SDGsをテーマとした講義、講演会・イベント、SDGsに関連したキャンパスづくり、などが行われている。また、学校教育や他団体・行政への協力も一定程度行われている。
- ・ 回答者自身が行っているSDGs関連活動としては、講義、演習、研究活動が多い。他にも、大学のSDGs関連活動への関わりや、大学外での地域活動への参加、などがあった。
- ・ SDGs関連の活動を展開するうえでの課題としては、大学側の対応にばらつきがあることが伺える。SDGs学習としては、扱う範囲が広く焦点化しにくい、学習評価・プロジェクト評価が難しい、などの課題がある。
- ・ 回答者がSDGs学習・教育を行うようになったきっかけについては、回答者が従来からSDGs関連のテーマで研究し、あるいは学習・教育活動をしていたという動機が圧倒的に多い。
- ・ 開発教育協会に対する要望としては、SDGs関連の教材開発に対する要望が多かった。

### II SDGs学習の実施状況

「所属されている大学・短期大学では、大学として次のようなSDGsに関する学習活動を実施していますか」の問いに対する回答は図1の通りである。

「SDGsをテーマとした講義」が最も多く、84.2%である。「SDGsに関する講演会やイベントの実施」が47.4%、「SDGs学習に関する学校教育への協力」が39.5%、「SDGsに関連したキャンパスづくり」が36.8%、「SDGs関連の活動について他団体や行政への協力」が31.6%、「SDGsに関連するサークル活動への支援」が26.3%、であった。

図1 所属されている大学・短期大学では、大学として次...する学習活動を実施していますか（複数回答）  
38件の回答



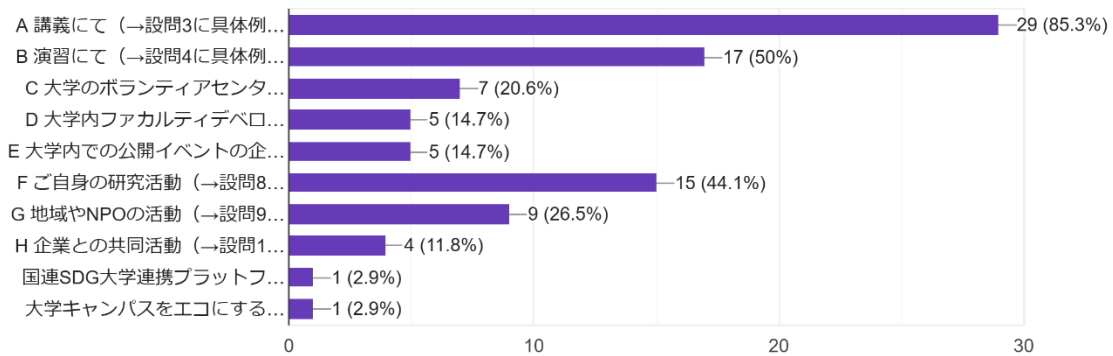
### III 回答者が行なっているSDGsに関する学習活動

回答者自身が行なっているSDGs関連の学習活動は図2のとおりである。

「講義」が85.2%、「演習」が50%、「自身の研究活動」が44.1%である。続いて、「地域やNPOの活動」26.5%、「大学のボランティアセンター・国際交流センター・キャリアセンター等での学生支援」20.6%、「大学内のファカルティデベロップメント」及び「大学内での公開イベントの企画運営」14.7%、「企業との協働活動」11.8%である。

講義、演習、研究活動が多いが、他にも大学内外のさまざまなSDGs関連活動が行なわれている。

図2 2 あなた自身が行っているSDGsに関する学習活動を教えてください。（複数回答）  
34件の回答

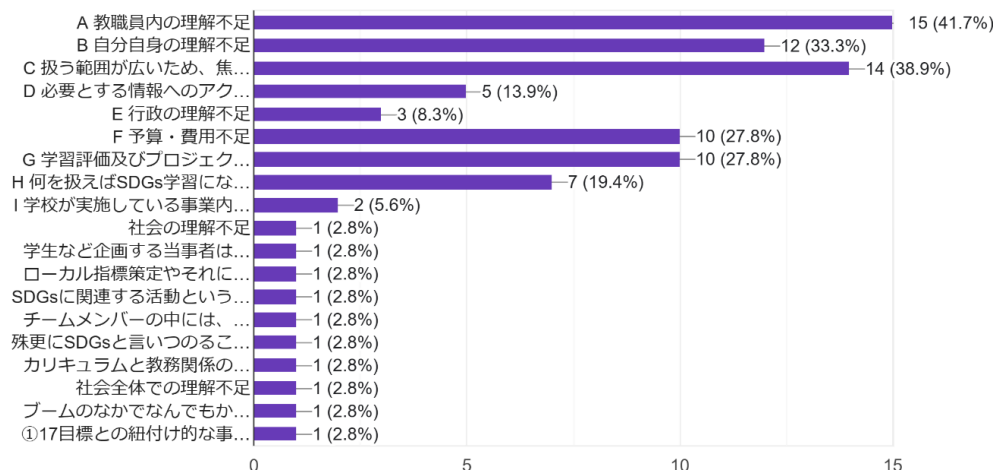


### IV SDGs活動を展開するうえでの課題

「SDGs関連の活動を展開するうえでの課題」については図3のような回答があった。

「教職員内の理解不足」が41.7%、「扱う範囲が広いと焦点化しにくい」が38.9%、「自分自身の理解不足」が33.3%である。さらに、「予算・費用不足」と「学習評価・プロジェクト評価が困難」が27.8%、「何を扱えばSDGs学習になるのかわかりにくい」が19.4%、「必要とする情報アクセスが困難」が13.9%、と続く。さらに「行政の理解不足」8.3%、「学校が実施している事業内容と一致しない」5.6%、という回答もあった。

図3 11 SDGsに関連する活動を展開する上で課題になっていることは何ですか。（複数回答）  
36件の回答



## V SDGs 学習・教育を行うきっかけ

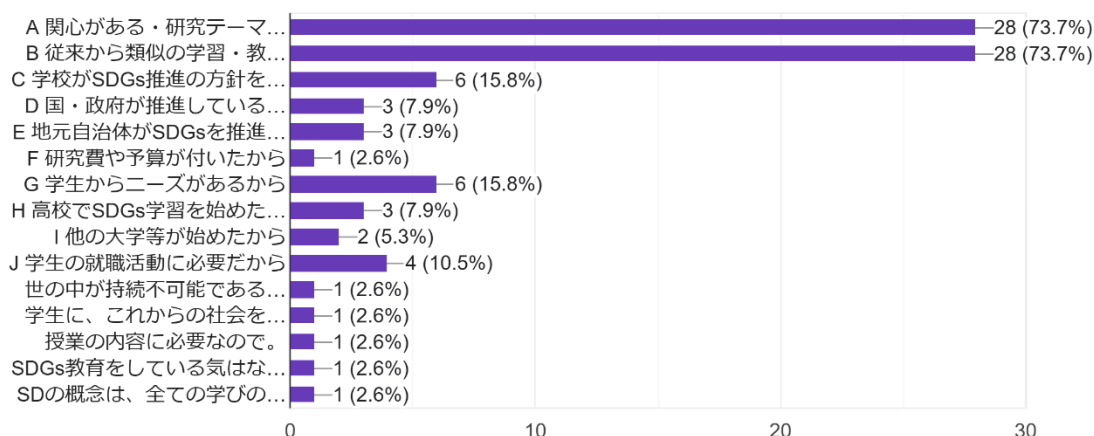
「学校・あなたがSDGs 学習・教育を行うようになったきっかけは何ですか」の問いに対する回答は図4のとおりである。

「関心がある・研究テーマである」及び「従来から類似の学習・教育をしていた」が非常に多くて73.7%である。「学校がSDGs 推進の方針を出した」及び「学生からのニーズがある」が15.8%、「学生の就職活動に必要な」が10.5%、「国・政府が推進している」「地方自治体が推進している」「高校でSDGs 学習を始めた」がいずれも7.9%である。

回答者自身が関心をもち、研究テーマとし、従来からSDGs 関連の学習・教育活動をしていたという動機が圧倒的に多い。学校の方針、学生のニーズ、国・自治体の推進などの外部的な要因は比較的少なかった。

図4

12 学校・あなたがSDGs 学習・教育を行うようになったきっかけは何ですか。（複数回答）  
38件の回答



## VI SDGs 学習を行う上で、参考にした図書、資料、団体（自由記述）

略

## VII 開発教育協会に期待すること（自由記述）

略

## VIII 結果の考察

- ・ 回答者が所属する大学等では、SDGs をテーマとした講義、講演会・イベント、SDGs に関連したキャンパスづくり、などが行われている。また、学校教育や他団体・行政への協力も一定程度行われている。
- ・ 回答者自身が行っているSDGs 関連活動としては、講義、演習、研究活動が多い。他にも、大学のSDGs 関連活動への関わりや、大学外での地域活動への参加、などがあった。

- ・ S D G s 関連の活動を展開するうえでの課題としては、「教職員内の理解不足」が最も多く、大学側の関与にばらつきがあることが伺える。S D G s 学習としては、扱う範囲が広く焦点化しにくい、学習評価・プロジェクト評価が難しい、などの課題がある。
- ・ 回答者がS D G s 学習・教育を行うようになったきっかけについては、回答者が従来からS D G s 関連のテーマで研究し、あるいは学習・教育活動をしていたという動機が圧倒的に多い。学校の方針、学生のニーズ、国・自治体の推進などの外部的な要因は比較的少なかった。
- ・ 開発教育協会に対する要望としては、S D G s 関連の教材開発に対する要望が多かった。大学等でのS D G s 教育面での期待が大きい。

以上